

令和元年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

令和2年2月28日（金）13時25分～15時10分

《場所》

山形県庁 701会議室

《出席委員》（※委員名簿順）

石塚久子委員、伊藤智英委員、岡崎恵子委員、河合麻衣委員
高見佳澄委員、西田忠一委員、横尾知子委員

《県民部会》

1 開会

2 あいさつ（岡村部会長が欠席のため省略）

3 議事（岡村部会長（座長）が欠席のため、事務局で進行）

(1) 報告

- ① 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）
令和元年度 県事業の取組状況について
- ② 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）
令和2年度 県事業（予定）について

【事務局】（資料1～3により説明）

<質疑・応答>

【石塚委員】

もったいない山形協力店の事業は、平成29年度から3年間実施しているが、今後、どのように事業展開していく予定か。

【事務局】

もったいない山形協力店に登録した事業所には、ポスターや卓上用小のぼりなどの啓発グッズを提供している。当初平成29年度から3年間の事業を予定していたが、昨年10月に食品ロス削減推進法が施行されたことから、来年度以降も継続し、この300店以上の協力店のネットワークを活用しながら、啓発等により一層取り組んでいく。

- ③ ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について
（各委員から資料4により報告）

【石塚委員】

3Rに向けた活動の状況として、1の廃油の利用については、東根や米沢の会員が重点的に取り組んでいる。2の生ごみのたい肥化、ボカシ等の作り方講習会については、長井市がレインボープランを推進し環境づくりに力を入れていて、重点的に取り組んでいる。3のダンボールコンポストについては米沢の各会員に参加してもらった。米沢は雪が多く、コンポストでできた肥料を土に戻すことがとても大変で、私も部屋で取り組んでいるが全然臭いもない。4のリフォーム教室については、各団体でいろいろ取り組んでいるが、県の交流会があった時に寒河江市が古布を利用した手作りを頑張っており、また、活動発表も行っている。6のフリーマーケットについても、同じように各市の消費団体が一生懸命やっている。米沢市の場合、一番ネックになるのが、バザーやフリーマーケットをするときに集会所等を借りるため申請するが、販売する場合は貸してもらえないなどの場合があり、もう少し行政から協力してもらいたいと思うことがあった。7のごみゼロやまがた県民運動については、県庁と総合支庁の職員の方々と一緒に庄内、最上、村山、置賜の各4地区の会員2～3名から参加してもらい、4地域一斉にごみゼロ県民運動等のチラシを配布した。

【伊藤委員】

フードバンクのやまがた福わたし（ボランティア団体）の立ち上げを行い活動している。その中でフードドライブ（家庭で余っている食品などを集める活動）をしているが、今年度1月末まで約6トン弱集まった。昨年度と同じ水準で特に増えていないが、全体的にみると去年企業から入れ替えで不要となった災害用物資の提供をしてもらったので、その分トータルでは減っている。

その他にJA女性組織協議会で、今年度2回のフードドライブを実施してもらった。さらに今回、県循環型社会推進課からやまがた環境展と県主催の食品ロス削減シンポジウムでフードドライブをさせてもらった。やまがた環境展では、やまがた福わたしのブースを設けて、環境に関心のある来場者から多く訪れてもらった。やまがた福わたしがマックスバリュに設置するフードドライブの箱を知っていることの話も多くの方から聞いた。

今年度、置賜総合支庁で、自治体として初めてフードドライブを実施してもらい、今後、各自治体からもフードドライブなどの支援をしてもらえればと思う。

来年度については、食品ロス削減推進法が施行され、今月19日に3回目の政府の食品ロス削減推進会議があり、具体的な内容の基本方針案が示された。3月には基本方針が閣議決定される予定。企業や個人で食品ロスをなくそうということで、フードドライブの実施が増えていくと思う。その中でもフードバンクが無償でもらい無償でお渡しする活動のため、経費だけがかかってしまい、その負担を助成金や寄付金に頼っている状況である。国や自治体からの支援をもらい、広く国民運動として浸透していくように活動を続けていきたいと思う。

【岡崎委員】

山形県保育協議会のごみゼロや3Rの具体的な活動をしているわけではなく、ごみゼロに向けて会員に呼びかける立場と思っている。今年度は総会などの会議で、用紙を多く使用するのをなるべく減らすペーパーレスの取組みをお願いした。

また、各園では給食の調理をしているので残菜を出さない工夫のお願いや、保護者に向けては毎日の生活の中でできることの呼びかけのお願いを行った。さらに、忘年会や会食会においては、3010運動により食べ残しを出さないように呼びかけた。

令和2年度については、なぜごみゼロをやらなければならないのかということ保護者の方にお伝えしたいと思っている。今の子どもたちの未来に必ず必要なところを少し出して、保護者の方に毎日の生活の中で少しでもやってもらえたらという思いがあるので、力を入れてやっていきたい。

【河合委員】

環境ネットやまがたは、山形県地球温暖化防止推進センターとして環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の事務局や、県内約200事業所入っている山形県環境保全協議会の事務局をしている。

環境ネットやまがたの取組みとして、①環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環で、紙ごみを毎月計測し、古紙回収に出している。また、コピー枚数も毎月計測し、削減にも取り組んでいる。②総会の後に懇親会を行うが、そちらで環境省の卓上POPも使い、3010運動を呼びかけた。③一応毎年の活動であるが事務所近くの竜山川の河川清掃活動も実施している。④環境にやさしいセミナーということで、ペットボトルの配布などは控え、給水器とプラスチックの再利用できる茶碗の方を持参し提供した。

外食時の「おいしい食べきり」キャンペーンでは、12月の環境ネットやまがたの忘年会で、県で作成したチラシやポスター、ポップを掲示して、食べ残しをなくす呼びかけなどを行った。

来年度の目標として、今年度の活動を引き続き行っていきたい。

【高見委員】

山形県PTA連合会では、この県民会議の議事内容を母親委員会や理事会などでお話ししている。

懇親会のおり、3010運動を呼びかけて、チラシもあるよと呼びかけた。チラシをもらった方の中で3010運動を初めて聞いたという方がまだまだいて、なかなか隅々までいきわたっている活動ではないのかなと思っている。

令和2年度の活動においては、またパンフレットのようなものをいただければ、周知しやすいと思う。資料により保護者の方々に周知していきたいと思っている。

【西田委員】

山形県保健環境活動団体連合会の令和元年度については、概ね前年度と大きな変わりはない。いろんな事業を県内4地区で市町村ごとにやっているが、各市町村において重点的に生ごみ処理機の購入補助またはごみステーションの新設あるいは修理なども市町村で全部処理しているところ、市町村によって取組みが違っている。

EMぼかしや環境ポスターコンクールについては、各市町村の小学生を対象に実施している。また、廃タイヤの回収事業が、不法投棄の防止につながっている。

令和2年度については、3R活動は引き続き重点的に実施し、公衆衛生上、今、海外でも大変な問題となっている水環境や、浄化槽などの適正な維持管理、不法

投棄防止活動なども引き続き取り組んでいく。

【横尾委員】

今年度の活動状況について、個人として、家庭生ごみは生ごみ処理機を利用し家庭菜園の肥料で活用している。買い物に出かける前には冷蔵庫の中をチェックして必要なものだけを買うように心がけている。リサイクルできるものは分別を徹底し、買い物の都度持参して回収ボックス等を利用している。

事業所として、車の消耗品以外の部品交換や修理はリサイクル部品を推奨し、分別の徹底や、ごみ削減のため電子化を促進している。自社の車も電気自動車にし、CO₂排出量削減を継続して行っている。会合、親睦会等で飲食の前に3010運動の紹介、呼びかけを行った。バイキング形式の食事の際、最初から皿に取りすぎず、食べきれぬ量を取り、自分の皿に食べ残しをしないよう声掛けをした。

令和2年度の活動目標について、個人として、生ごみ処理機の利用を継続し、昨年より多くの野菜が収穫できるようにしたいと考えている。買い物をする際、必要のないものは買わない、もらわないを心がける。使わなくなったものは、リサイクルショップなどを利用して、家でのごみを出さないように工夫したい。

事業所として、来客用テーブルにリーフレット、壁にポスターを貼り、引き続きリサイクル部品を推奨していきたい。社内で電子化の対象件数を増やし、電気自動車も継続していく。

【事務局】（欠席委員の活動状況について、資料4により説明）

(2) 協議

① 令和2年度「ごみゼロやまがた県民運動」（家庭編）展開方針（案）について

【事務局】（展開方針（原案）について、資料5により説明）

<質疑・応答>

【伊藤委員】

10月が食品ロスの削減月間ということで、やまがた環境展や食品ロス削減セミナーを開催するというのはわかるが、月間通して県が取り組むものはあるのか。

【事務局】

来年度の県の事業としては、10月が食品ロス削減月間であるため、新規に食品ロス削減セミナーを10月のやまがた環境展に併せて開催する予定。また、やまがた環境展に出展する当課のブースで、家庭における食品ロスを減らすための啓発をしていきたい。

10月前半に、県庁1階ロビー（ジョンダナホール）においても関係展示をしてPRしていきたい。

また、来年度も新聞や県広報番組でのPRに向けて、広報担当課と調整を行っている。

【西田委員】

プラスチックごみの削減という大きな目標があり、我々は衛生活動を各市町村でやっているが、とんでもない量のコンビニの袋等のゴミが道路の側道に捨てられている。ごみを削減するため、最上の不法投棄防止協議会にも言っている。コンビニの袋などプラスチックごみや、ビールの缶とかもう少しなんとかなれば山形県ももう少しきれいになるんじゃないかと思う。警察にも捨てられているごみの量をなんとかならないかということを経回会合があるたびに言っている。この会議でも敢えて話を出すので、何か意見等伺いたい。

【事務局】

不法投棄の回収作業や、各市町村の方の衛生組合連合会でごみ拾い等ご協力いただいていると承知している。

買い物のレジ袋については、7月から一律に有料化が予定されている。現在、コンビニやドラッグストアについては無償で配布されているが、省令が改正され、原則有料化となる。

まずはごみ削減に関する県民運動で、レジ袋の有料化を含めてプラごみの削減の周知を図っていければと思う。県民運動のプラスチックごみ削減運動に「お買い物はマイバッグで」と何年も前から取り組んでいるが、皆さんの団体からも県民運動としてマイバッグ活動に取り組んでもらうとありがたい。

また、ポイ捨て関係についてはこれまでも取り組んできているが、なお一層徹底することによって削減していきたい。

【西田委員】

少しでも不法投棄が少なくなるように我々頑張るので、県でももう少しいろいろな面でバックアップしてくれればと思う。

【石塚委員】

私は県の消費生活の代表として、審議会等に年20回くらい出席している。その中には昼食から引き続き会議を行う会議もある。2年くらい前、会議前の昼食で残してしまったことから、次回の会議から会議だけの出席とし昼食をお断りした。食品ロス削減を奨励している団体でもあることから、7割8割残すというのはよくないと思う。一人ひとりが気を付けないと、実際は自分が協力しなければ何もならないと考えている。それで今日は県庁16階のレストランで食事をしてきた。ここではご飯を4分の1で注文した。自分なりに強調して言わないと聞いてくれないのかなと思う。私たち消費者は、そこのところを一生懸命に言っているが、協力してもらわないとなかなかできないと思う。

【事務局】

飲食店や宿泊施設等で、もったいない山形協力店に登録される店では、食事の量の適量注文や、小盛など少なめの注文に対応できる店が多く、適量注文による適量

提供により食品ロスが少なくなると思うので、機会をとらえてご紹介できればと考えている。こういった個人の取組みが大事なので、各団体においても周知してもらえるとありがたい。県としてももったいない山形協力店の紹介に合わせ適量注文の呼びかけを何らかの形で進めたい。

【高見委員】

資料5-2のやまがた環境展アンケート調査の中のマイバッグ持参にかかる意識調査で現在取り組んでいるが83%であり、やまがた環境展の来場者はある程度意識が高いと思う。マイバッグの持参率はどれくらいか。

また、令和2年度「ごみゼロやまがた県民運動」は県民に広く配布されるものか。フードバンクの記載があるが、フードバンクに連絡しようとなったときにどこに連絡すればいいか。一般の人はわからないと思う。そういう場合は発行のごみゼロやまがた推進県民会議のお問い合わせ先に電話番号にかけるとわかるようになっていいのか。同じく生ごみの水切りでごみダイエットに助成を行っている市町村もありますと記載されているが、各自が自分の市町村に確認してくださいというものなのか、ここに電話すると市を教えてくれるものなのかなど、その辺みんなに配付されるものであれば、手元にわたったときにもう少しはっきりわかればいいのかと思う。

【事務局】

スーパーのマイバッグの持参率については、各事業者によって違うが90%くらいであったと思う。特にイオン、マックスバリュ東北の場合、秋田県にも店舗があるが、秋田県ではマイバッグの取組みが進んでいないことを聞いたことがある。本県でも、ドラッグストア、コンビニ関係についてはまだ有料化の取組みが進んでいない。

「ごみゼロやまがた県民運動」のチラシについては、県民会議構成団体を通じた周知のほか、特に配布はせず、県のホームページ等で周知している。

チラシに掲載の生ごみダイエットの助成市町村とフードバンクの連絡先については、例えばチラシの中ほどにあるレシピコンテストやまがたの検索という形で表示する形もあるが、特に堆肥化装置の助成の方は各市町村の連絡先や、助成の有無及び助成の内容等の情報もあるので、その周知の方法等については考えていきたい。なお、チラシの下の方にお問い合わせ先を記載しており、県循環型社会推進課に問合せしてもらおうとある程度のところはお答えできる。最終的には生ごみの堆肥化装置の助成等は市町村の事業になるので、詳細は市町村に問い合わせてもらおうということにはなるが、概要であれば当課でも対応できると思う。

【進行（事務局）】

他に御意見がなければ、令和2年度ごみゼロやまがた県民運動（家庭編）展開方針として、食品ロス削減運動、プラスチックごみ削減運動、ごみの分別徹底運動の3つを展開方針案として総会に提出することではいかがか。

【各委員】

異議なし（了承）

② 令和2年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について

【事務局】（資料6により説明）

<質疑・応答>

質問等なし

【進行（事務局）】

県民部会として、令和2年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について了承し、総会に提出することでいかがか。

【各委員】

異議なし（了承）

(3) その他

なし

4 その他

【事務局】

- ・ 5月下旬頃に総会を開催する予定であることを説明。
- ・ 令和2年度は、県民会議の各部会を年度末のほかに、7月～9月にもう1回追加して開催し、次期山形県循環型社会形成推進計画の素案を説明し、意見を伺うことを説明。

5 閉会